

ここにちは日本共産党です

広陵民報

2014(平成26)年5・6月-028

発行:日本共産党広陵支部
町会議員:八尾 春雄 0745-60-0972
snkb30217@hera.eonet.ne.jp
町会議員:山田みつよ 0745-55-7003
my22@kcn.jp
日本共産党広陵町議員団 HP
<http://koryo-jcp.jp/>



五位堂駅北側エレベーターが運行開始。永年の住民運動実る！

去る4月25日近鉄五位堂駅北側のエレベーターの運用が開始されました。

住民のみなさんが粘り強く要望され行政を動かしました。

駅構内には近鉄の方針でエレベーターが設置されて運行されていましたが、駅北側は香芝市の土地であり、香芝市からのアクションがなければ要求実現は困難な状況でした。幸いにして香芝市長と広陵町長の協議や助成金制度の活用などで設置が決まりめでたく運行開始となつたのです。

広陵町では、行政との懇談を続ける自

治体キャラバンの活動でも毎年取り上げられており、日本共産党議員団も実現のため要望活動を続けて来ました。(写真は喜びに沸く住民のみなさんと議員団)

3月議会報告

平成26年度予算は、一般・国保・介護・後期高齢者・上下水道・給食の予算案に反対し、その他は賛成しました

別名 予算議会とも呼ばれる3月議会ですが、町長が消費税増税を前提に、また住民負担を一気に増加させる予算(国保税・下水道料金・小学校給食費後期高齢者掛金等の値上げ)を組んでいるため9本のうち7本は反対しました。消費税8%への増税は景気回復が進んでない時には中止もありうると法律の附則に定めておきながら景気の実態を全く無視して強行されたものです。



山田みつよ一般質問

質問一 太陽光発電への補助を！

（質問） 国の補助体制が26年度にて終了します。町として支援する姿勢がいるの

ではないか？国が「エネルギー基本計画」を決定して原発を重要なベースストリード電源と原発を位置づける」としているのは原発事故への国民の不安と原発ゼロへの強い願いを踏みにじるもので、町として原発への姿勢が問われるものである。

（答弁） 自治体として裁量は極めて限定されるもの。安易に再稼働されるものではないとの認識を持つている。

住民に住居耐震補強を先に施工していただけ、補強された家屋に太陽光パネルを設置していくことを進め補助も検討します。

八尾春雄一般質問

やつお

質問一 遊水機能の確保のためにもっと努力を



やつお

中学校給食は重要段階に。自校直営方式実現に全力投球

議会は特別委員会を設置し「請願内容

に基づく中学校給食の実施、学校給食法

に基づく給食の実施」を申し入れています。

日本共産党議員団は既に5つの小学校

で実施されている直営の自校調理方式が

請願内容に合致することを指摘してその

実現に努力していますが、他の議員から

は「給食の実施はコスト問題」として、でき

るだけ安あがりの給食をとの主張もあり、

町が請願の趣旨をしっかりと踏まえた提案

を行なうことが重要になります。

また、中学校給食運営委員会が開催さ

れていますが、自校方式やセンター方式

の特徴を十分に比較検討し、センター方

式ありきの偏った議論とならないよう

留意すべきです。

（質問） 内閣府が消費税増税とともに進

めようとしている子ども子育て新制度実

施には1兆円の財源が必要だが7千億円

しか手当てが出来ていない。残りの財源の

捻出方法も決まつていない状態での実施は

中止をして先送りなどすべきではないか。

（答弁） 7千億円が支援制度に対する

財源として確保され、残りも国が確保に

努力されるものであり準備を進めている。

ニーズ調査の結果を子育て会議で報告を

して事業計画について検討頂く。

日本共産党の対応

この子育て新制度の内容についてはまだ

審議中のものが多くこのまま実施は混乱

を招くと思います。共産党としてわかり

やすいチラシ制作中です。5月末には保

育所を中心に配布予定です。

また、通行者から事故発生の危険を指

摘されている県道河合大和高線を安全

な県道にするための質問をしました。町

は文字から要望部分は対応してあと

の部分は抜本策がなく「安全対策のため

にできる」とから進めて頂くようお願い

を続けてまいります」との答弁でした。

今井県議と連携していろいろな角度から

検討して一日も早く安心安全な県道を目指して頑張ります。

その他 後期高齢者医療の現状、職員の

休憩に空き会議室等の利用を、都計審の

今後の審議について質問しました。

（質問） 平成19年度から県内で栄養教諭に栄養職員から栄養教諭の任用替えが進められている。担任教員や児童生徒に対する食育の推進を進めるためには、各学校単位の栄養指導・アレンジ対応、地盤地消等の取り組みが重要で、各学校に栄養教諭の配置が必要ではないか。

（教育委員会） 平成19年度から県内で栄養教諭に配置が開始され35名（内1名が広陵町）が配置されている。町内には栄養職員が他の1名配置され、いずれも県内に実施されている。日本栄養士会では「学校給食は食育の味方」として栄養教諭の役割を位置づけておられる。

その他 後期高齢者医療の現状、職員の休憩に空き会議室等の利用を、都計審の今後の審議について質問しました。

県会議員
今井光子

日本共産党議員団が一
つの意見書を提案

河合診療所友の会主催で大腸の病気に
ついて、医療懇談会が中央公民館で行わ
れ、土庫病院の福島直樹医師がお話をし
てくれました。

福島直樹医師は早期発見・早期治療の必要
性を強調。大腸がんは今では簡単に内視
鏡で切除できます。スライドで紹介して
くれましたがかなりのものまで内視鏡で
できるためおなかを切らなくていいと
のことです。

がんにならないようにするには、塩分控
えめ、低脂肪低蛋白でなく食事はきちんと
と取る。高カロリーは控えめに、高脂肪も
控えめに、お酒は程ほどタバコはやめよう
ということです。最後のこれだけは覚えて
いわされたのが「ニコチンやめて、カロチン
とうて、歩けあるけで、がん予防納得!」

① TPP交渉からの脱退を求める意見書
新聞報道でも明らかのようにアメリカ
との交渉はデッドロックに乗り上げ、これ
以上進もうとすれば公約に違反して農
産物重要な5品目での関税撤廃に道を開
くことになります。

衆議院の農業水産委員会では、昨年5
月、自民党・民主党・公明党が「重要な品
目の関税撤廃がなされるのならTPPか
らの脱退も検討する」を提案し決議して
いることを指摘し、意見書の賛成を求め
ました。保守系無所属議員が反対討論に
立ち、民主党・公明党は討論に立たずダ
マリを決め込みました。

②特定秘密保護法の廃止を求める意見書
国民の知る権利を奪い、言論の自由を
封殺する憲法違反の反動的な法律です。

また、この法律を根拠に政府の勝手な判
断で「公益を理由に本人の了解なしに個
人の情報が捜査機関に提供される可能性
を指摘しました。

(①②の意見書は賛成少数で否決)

ご存知ですか

(知得情報……障害者控除)

所得税の確定申告において、障害者手
帳などの交付を受けていないとも、介護
保険の要介護認定を受けている人は、自
治体から障害者控除の対象であるとい
う認定書を受けことで障害者控除を適用
することができます。(自治体によって対
応にばらつきがありますが、もしかした
ら……と思われる方は日本共産党議員団
までご連絡ください!



安倍政権の「戦争する国」
くりへの暴走に批判高まる

日本共産党の小池晃副委員長は、5月3
日のNHK憲法記念日特集「9条と集団的
自衛権」に出演し、各党代表者と議論し
ました。

NHKの4月の世論調査では憲法9条に
ついて「改正の必要がある」が23%、「必要
ない」が38%となりました。(アラフ左
小池氏は「いろいろな世論調査を見ても、
憲法9条を変えるべきでない」という人が
急速に増えている」と述べ、その理由とし
て「秘密保護法や集団的自衛権など『戦
争する国』に向かう安倍政権に多くの國
民が危険性を感じているからだ」と指摘
しました。

世論調査では、集団的自衛権の行使で
も「反対」が「賛成」を上回りました。ア
ラフ右「毎日」3日付の世論調査でも、憲
法9条を「改正すべきではない」との回答
が51%で、前年比14ポイント増、「改正す
べき」の36%を大きく上回りました。

年金減、保険料増

「社会保険のため
真っ赤なウソ」

消費税8%→8兆円、医療、年金、介護
など社会保険の改悪をあわせると10兆円
の負担増です。

「消費税増税は社会保険の財源のため
という政府のだまし討ちは許せません。」

憲法九条破壊・「戦争する国づくり」を目指す
集団的自衛権行使容認をストップさせましょ！
特定秘密保護法はすみやかに廃止を！



4月から相次ぐ負担増…

年金
支給額▶0.7%引き下げ
(4月分)
厚生年金保険料率(9月分)
17.12%▶17.474%

医療
70~74歳の医療費
自己負担1割▶2割
(4月2日以降、70歳になる人)

介護
40~64歳介護保険料率
(被扶養人1人以上3月分)
1.55%▶1.72%

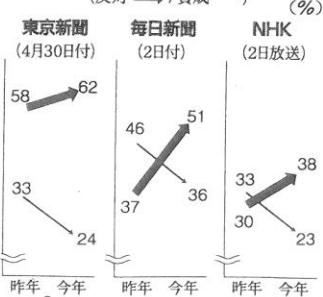
増税で経済も財政も悪くなるだけ
財界・大企業には減税

増税決めたのは自・公・民「三党合意」

消費税増税と社会保険切り下げを決めたのは自民・公明・民主の「三
党合意」。「増税する前にやることがある」と主張した勢力も、増税実施が
近づくと安倍政権へ乗り寄り。増税中止の旗を降ろした責任も重大です。

反対が賛成上回る

憲法9条改定に関する世論調査
(反対 → / 賛成 →) (%)



集団的自衛権の行使は



これまでの憲法解釈と同じく認めるべきでない